

2021年12月8日

株式会社 TBM

報道関係者各位

TBM、インドネシアの化粧品容器成形メーカー最大手の PT. Kemas Indah Maju と LIMEX Pellet（射出成形グレード）の販売契約を締結 ～世界的な大手化粧品ブランドの石油由来プラスチックと温室効果ガスの削減ニーズに貢献～

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、インドネシアの化粧品容器成形メーカー最大手で日本国内及び世界大手の化粧品メーカーの製品を取扱う、PT. Kemas Indah Maju（本社：インドネシア、プレジデント・ディレクター：Urip Tjendera、以下 PT. Kemas）と化粧品容器向け「LIMEX Pellet（ライメックスペレット）」の射出成形グレードの販売契約を締結したことをお知らせいたします。

炭酸カルシウムなど無機物を 50%以上含む LIMEX Pellet は、石油由来プラスチックと比較し、石油由来プラスチックの使用量を最大 37%削減することができ、気候変動の要因となる CO₂ 排出量を最大 28%抑えることができます。

*1 LIMEX の主原料である石灰石は石油と比較し、価格の変動が少ない為、安定した価格で提供することが可能であり、多くの化粧品容器に使用される ABS 樹脂やポリプロピレン (PP) の代替素材として活用できます。また、LIMEX は主原料が石灰石である為、マットで高級感のある質感と重厚感を実現することが可能であり、世界的な大手化粧品ブランドでの採用も予定されています。

化粧品業界で加速する環境負荷軽減のニーズに応えるため、PT. Kemas で取り扱う国内及び世界的な大手化粧品ブランドの品質にも考慮した上で、LIMEX の環境性能および価格競争力を評価され、化粧品容器（コンパクト、化粧品ジャー容器、リップ等の射出成形品）向けの LIMEX Pellet の販売契約締結に至りました。今後、LIMEX Pellet が使用された化粧品容器の普及を通じて、化粧品業界が抱える環境問題解決に向けて貢献して参ります。

*1 TBM 調べ | 算定範囲は、原料調達～処分（焼却） | 数値は参考値であり、保証値ではありません。

T B M

For Sustainable Beauty

PT. Kemas と化粧品容器向け
LIMEX Pellet の販売契約を締結



■ 概要

世界において気候変動、資源枯渇、水資源の危機等の環境課題が急速に進行しており、国はもとより企業レベルでの対応が必至となっています。プラスチックに関しては各国が独自に規制しており、日本を含む世界 170 ヶ国^{*2}がプラスチック製品の利用を禁止もしくは制限をしています。一方、人口増加や新興国の経済成長に伴い、世界のプラスチック樹脂の市場規模は 2020 年から 2027 年まで 4.5% の CAGR で成長し、2027 年までに 5,225 億ドルに達すると予測されています^{*3}。化粧品容器は、世界中で年間 120 億個（ユニット）が廃棄されており、そのほとんどがリサイクルされていないと言われていています^{*4}。化粧品業界ではこの現状を変えるべく、化粧品容器のリサイクルや再生材料の利用、詰め替えパッケージの提案など、様々な施策を進めています。

LIMEX Pellet の射出成形グレードは、世界各国^{*5}の既存設備で成形することが可能であり、石油由来プラスチックと比較してプラスチック使用量と CO₂ 排出量の削減につながります。また、主原料である石灰石は石油と比較し、供給安定性が優れており、価格の変動（ボラティリティ）が少ない為、安定した価格での提供が可能です。

LIMEX Pellet 詳細：<https://tb-m.com/limex/products/plastic/>

^{*2} World Economic Forum <https://www.weforum.org/agenda/2020/10/canada-bans-single-use-plastics/>

^{*3} Report Ocean https://reportocean.com/industry-verticals/sample-request?report_id=AMR1290

^{*4} Zero Waste Week <https://www.zerowaste.com/zero-waste-home-guide/>

^{*5} LIMEX は世界 40 ヶ国以上で特許取得済み

■ LIMEX（ライメックス）とは

LIMEX は、炭酸カルシウムなど無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です。世界 40 ヶ国以上で特許を取得しており、COP や G20 の国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO（国際連合工業開発機関）のサステナブル技術普及プラットフォームに登録されています。プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することが可能です。

*LIMEX は無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル（JSA-S1008）、JSA 規格の対象

<LIMEX の特徴>

- ・ 石灰石は資源輸入国である日本においても自給率 100%、地球上に非常に豊富に存在する資源です。
- ・ 石灰石は一般的なプラスチック（PP）と比較して同体積の焼却時に CO₂ を約 58% 排出削減出来るため、プラスチック代替素材の主原料として石灰石を用いることで石油由来プラスチックの使用量を抑え（リデュース）、焼却時の CO₂ 排出量を削減できます。
- ・ ライフサイクルアセスメント（LCA）という科学的分析手法を用いて、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける環境影響を算定し、素材開発に活用しています。

■ 株式会社 TBM

代表取締役 CEO：山崎 敦義

本社：東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立：2011 年

資本金：234 億 2,993 万円（資本準備金含む） / 2021 年 7 月時点

事業内容：環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL：<https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 30 ヶ国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に年産 6,000 トンの LIMEX を製造する第一プラントを建設

- ・ 2015年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（製造業等立地支援事業）」に採択
- ・ 2016年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2018年 COP24（第24回国連気候変動枠組条約締約国会議）に日本政府代表団として参加
- ・ 2019年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場での運営品として LIMEX 製品が採用
- ・ 2019年 中国・河南省、モンゴルでの LIMEX 事業化に向けた基本合意を締結
- ・ 2019年 代表取締役 CEO の山崎敦義が、「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2019 ジャパン」Exceptional Growth 部門「大賞」を受賞
- ・ 2020年 使用済みプラスチックなどの再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX（サーキュレックス）」を発表
- ・ 2020年 100%再生可能エネルギーの電力を LIMEX の生産拠点に導入
- ・ 2020年 BtoC 向けの EC 事業「ZAIMA」を開始
- ・ 2021年 宮城県多賀城市に年間 23,000 トンの LIMEX を製造する第二プラントを建設
- ・ 2021年 韓国財閥の SK グループと 135 億円の資本業務提携を合意

*本リリースに記載された会社名及び商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 TBM コーポレート・コミュニケーション本部 酒井菜摘 / 海外事業部 喜田真弘

TEL: 03-6268-8915 Email: pr@tb-m.com